



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月2日  
上場取引所 東

上場会社名 日本酸素ホールディングス株式会社  
コード番号 4091 URL <https://www.nipponsanso-hd.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 濱田敏彦  
問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 梶山慶太 TEL 03-5788-8512  
四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	873,042	26.2	87,537	14.7	84,398	10.7	54,414	4.6	52,400	4.5	81,107	10.9
2022年3月期第3四半期	691,535	16.8	76,316	26.2	76,256	20.7	52,008	35.9	50,136	34.3	73,151	10.8

(参考) 税引前四半期利益 2023年3月期第3四半期 74,757百万円(8.4%) 2022年3月期第3四半期 68,991百万円(26.1%)

コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	121.07	—
2022年3月期第3四半期	115.85	—

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,109,908	720,441	687,704	32.6
2022年3月期	1,977,026	661,137	628,714	31.8

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
2023年3月期	—	18.00	—		
2023年3月期（予想）				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,160,000	21.2	115,000	12.0	113,000	11.7	70,500	5.8	68,000	6.1	157.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考) 税引前利益 通期 99,000百万円(8.1%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	433,092,837株	2022年3月期	433,092,837株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	232,218株	2022年3月期	344,870株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	432,797,800株	2022年3月期3Q	432,749,531株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (全般の概況)

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日まで)における当社グループの事業環境は、ウクライナの地政学的問題、米中貿易摩擦、世界的なエネルギーコストの高騰や物価上昇、円安の進行など、先行きを見通すことが困難な厳しい状況でした。この結果、主力製品であるセパレートガス(酸素、窒素、アルゴン)の出荷数量は、前期比で減少しました。一方で、価格改定、コスト回収、価格マネジメント、堅実な生産性向上への取組みに、グループ全体で注力しました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上収益8,730億42百万円(前年同期比26.2%増加)、コア営業利益875億37百万円(同14.7%増加)、営業利益843億98百万円(同10.7%増加)、親会社の所有者に帰属する四半期利益524億0百万円(同4.5%増加)となりました。

為替の影響については、期中平均レートが前年同期に比べ、米ドルで111円45銭から136円85銭へと25円40銭(同22.8%増加)の円安、ユーロで130円96銭から140円83銭へと9円87銭(同7.5%増加)の円安、豪ドルで82円69銭から93円16銭へと10円47銭(同12.7%増加)の円安となるなど、売上収益は全体で約627億円、コア営業利益は全体で約79億円多く表示されています。

なお、コア営業利益は営業利益から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出しております。

#### (事業別の概況)

セグメント業績は、次のとおりです。

なお、当第3四半期連結会計期間より、従来、「日本ガス事業」「米国ガス事業」「欧州ガス事業」「アジア・オセアニアガス事業」「サーモス事業」としていた報告セグメントの名称を、「日本」「米国」「欧州」「アジア・オセアニア」「サーモス」に変更しておりますが、セグメント情報に与える影響はありません。

また、セグメント利益はコア営業利益で表示しております。

#### ① 日本

産業ガス関連の売上収益は、主力製品であるセパレートガス及びLPガスにおいて出荷数量は減少したものの、コスト上昇に伴う販売価格の上昇により増収となりました。また、エレクトロニクス関連での電子材料ガスの販売は堅調で増収となりました。機器・工事では産業ガス関連、エレクトロニクス関連共に、前期に比べ増収となりました。一方で、エネルギー価格や物価上昇の影響に伴う製造コスト及び物流費等の上昇が続いており、販売価格の上昇との間に時間差があることから減益となりました。

以上の結果、日本セグメントの売上収益は、3,005億50百万円(前年同期比12.7%増加)、セグメント利益は、201億36百万円(同10.4%減少)となりました。

#### ② 米国

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの出荷数量は前期並みでしたが、売上収益はコスト上昇に伴う販売価格の上昇により増収となりました。また、炭酸ガスについては特にドライアイスの販売が好調でした。機器・工事では、溶接・溶断関連機材で前期に比べ大幅に増収となりました。一方、エレクトロニクス関連の販売は前期並みでした。

以上の結果、米国セグメントの売上収益は、2,236億8百万円(前年同期比36.2%増加)、セグメント利益は、260億99百万円(同27.7%増加)となりました。加えて、円安の影響で売上収益及びセグメント利益は多く表示されています。

#### ③ 欧州

主力製品であるセパレートガスは、客先稼働状況により出荷数量が減少しましたが、エネルギー価格と物価上昇の影響等の大幅なコスト上昇を販売価格の上昇で吸収できた結果、売上収益は大幅な増収となりました。また、生産性向上とコスト低減の取り組みによる寄与がありました。

以上の結果、欧州セグメントの売上収益は、2,033億2百万円(前年同期比36.2%増加)、セグメント利益は、253億87百万円(同30.7%増加)となりました。加えて、円安の影響で売上収益及びセグメント利益は多く表示されています。

## ④ アジア・オセアニア

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの出荷数量は堅調に推移し、売上収益は増収となりました。主に豪州地域での販売が多くを占めるLPガスでは、引き続き仕入れ価格の上昇による販売単価の上昇と堅調な販売数量の推移により増収となりました。エレクトロニクス関連では、ガス・機器ともに好調に推移し、増収となりました。

以上の結果、アジア・オセアニアセグメントの売上収益は、1,228億68百万円（前年同期比 35.3%増加）、セグメント利益は、123億21百万円（同 26.6%増加）となりました。加えて、円安の影響で売上収益及びセグメント利益は多く表示されています。

## ⑤ サーマス

日本では、2022年春に政府による外出等の制限が緩和されたことから、ケータイマグやスポーツボトルの販売が堅調であったことに加え、フライパンなどの調理用品も好調に推移し、売上収益は大幅な増収となりました。海外での販売も順調でした。一方で、物価上昇による原材料価格の上昇と円安による製造コストの増加で減益となりました。

以上の結果、サーマスセグメントの売上収益は、226億39百万円（前年同期比 11.2%増加）、セグメント利益は、44億75百万円（同 9.7%減少）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は2兆1,099億8百万円で、前連結会計年度末比で1,328億82百万円の増加となっております。為替の影響については、前連結会計年度末に比べ期末日レートが米ドルで10円31銭の円安、ユーロで4円77銭の円安となるなど、約745億円多く表示されております。

## 〔資産〕

流動資産は、営業債権や棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末比で857億93百万円増加し、5,082億87百万円となっております。

非流動資産は、有形固定資産やのれんの増加等により、前連結会計年度末比で470億88百万円増加し、1兆6,016億21百万円となっております。

## 〔負債〕

流動負債は、社債及び借入金やその他の金融負債の増加等により、前連結会計年度末比で1,014億22百万円増加し、4,330億17百万円となっております。

非流動負債は、社債及び借入金の減少や繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末比で278億43百万円減少し、9,564億49百万円となっております。

## 〔資本〕

資本は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加や、利益剰余金の配当による減少、在外営業活動体の換算差額の増加等により、前連結会計年度末比で593億3百万円増加し、7,204億41百万円となっております。

なお、親会社所有者帰属持分比率は32.6%で前連結会計年度末に比べ0.8ポイント高くなっております。

## (キャッシュ・フローの分析)

## 〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

税引前四半期利益、減価償却費及び償却費、法人所得税の支払額又は還付額等により、営業活動によるキャッシュ・フローは1,082億26百万円の収入（前年同期比 11.2%増加）となりました。

## 〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

有形固定資産の取得による支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローは639億60百万円の支出（前年同期比 35.5%増加）となりました。

## 〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

長期借入金の返済による支出、コマーシャル・ペーパーの純増減額、短期借入金の純増減額等により、財務活動によるキャッシュ・フローは288億76百万円の支出（前年同期比 53.5%減少）となりました。

これらの結果に、為替換算差額等を加えた当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は、1,095億35百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月1日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	93,697	109,535
営業債権	218,480	243,432
棚卸資産	80,064	103,090
その他の金融資産	7,310	24,553
その他の流動資産	22,940	27,674
流動資産合計	422,493	508,287
非流動資産		
有形固定資産	729,658	762,266
のれん	485,190	503,974
無形資産	241,320	240,788
持分法で会計処理されている投資	35,700	36,286
その他の金融資産	55,410	50,923
退職給付に係る資産	2,468	2,674
その他の非流動資産	1,163	1,301
繰延税金資産	3,619	3,405
非流動資産合計	1,554,532	1,601,621
資産合計	1,977,026	2,109,908

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	115,123	120,557
社債及び借入金	110,595	174,642
未払法人所得税	9,746	9,281
その他の金融負債	65,228	92,355
引当金	1,068	316
その他の流動負債	29,832	35,864
流動負債合計	331,595	433,017
非流動負債		
社債及び借入金	779,749	737,964
その他の金融負債	31,231	35,922
退職給付に係る負債	14,165	14,736
引当金	5,107	5,242
その他の非流動負債	20,918	22,568
繰延税金負債	133,120	140,015
非流動負債合計	984,292	956,449
負債合計	1,315,888	1,389,467
資本		
資本金	37,344	37,344
資本剰余金	55,945	51,774
自己株式	△281	△232
利益剰余金	476,589	514,020
その他の資本の構成要素	59,115	84,797
親会社の所有者に帰属する持分合計	628,714	687,704
非支配持分	32,423	32,736
資本合計	661,137	720,441
負債及び資本合計	1,977,026	2,109,908

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	691,535	873,042
売上原価	△426,569	△554,118
売上総利益	264,966	318,923
販売費及び一般管理費	△191,052	△233,586
その他の営業収益	1,704	4,454
その他の営業費用	△1,590	△7,616
持分法による投資利益	2,228	2,222
営業利益	76,256	84,398
金融収益	1,634	1,653
金融費用	△8,900	△11,293
税引前四半期利益	68,991	74,757
法人所得税	△16,982	△20,343
四半期利益	52,008	54,414
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	50,136	52,400
非支配持分	1,872	2,013
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	115.85	121.07



要約四半期連結包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	52,008	54,414
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	8,167	△3,451
確定給付制度の再測定	32	11
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	53	△42
純損益に振り替えられることのない項目合計	8,253	△3,482
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	11,883	28,954
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変 動の有効部分	△61	△893
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	1,067	2,114
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	12,889	30,174
税引後その他の包括利益合計	21,142	26,692
四半期包括利益	73,151	81,107
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	71,174	78,693
非支配持分	1,976	2,413

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2021年4月1日残高	37,344	55,901	△273	422,838
四半期利益	—	—	—	50,136
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	50,136
自己株式の取得	—	—	△5	—
自己株式の処分	—	0	0	—
配当	—	—	—	△13,853
支配継続子会社に対する持分変動	—	△79	—	—
企業結合又は事業分離	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	2,552
連結範囲の変動	—	—	—	43
その他の増減	—	—	—	△0
所有者との取引額等合計	—	△79	△5	△11,257
2021年12月31日残高	37,344	55,822	△279	461,716

その他の資本の構成要素

	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・ユ・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2021年4月1日残高	△18,029	71	15,310	—	△2,646	513,164	30,736	543,900
四半期利益	—	—	—	—	—	50,136	1,872	52,008
その他の包括利益	12,849	△60	8,217	32	21,038	21,038	104	21,142
四半期包括利益	12,849	△60	8,217	32	21,038	71,174	1,976	73,151
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△5	—	△5
自己株式の処分	—	—	—	—	—	0	—	0
配当	—	—	—	—	—	△13,853	△991	△14,844
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	△79	129	49
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△2,519	△32	△2,552	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	43	—	43
その他の増減	—	—	—	—	—	△0	179	179
所有者との取引額等合計	—	—	△2,519	△32	△2,552	△13,895	△682	△14,578
2021年12月31日残高	△5,180	11	21,008	—	15,839	570,443	32,029	602,473

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2022年4月1日残高	37,344	55,945	△281	476,589
四半期利益	—	—	—	52,400
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	52,400
自己株式の取得	—	—	△4	—
自己株式の処分	—	—	53	—
配当	—	—	—	△15,579
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△4,171	—	—
企業結合又は事業分離	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	609
連結範囲の変動	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△4,171	48	△14,970
2022年12月31日残高	37,344	51,774	△232	514,020

その他の資本の構成要素

	在外営業活 動体の換算 差額	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ の公正価値 の純変動の 有効部分	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	確定給付制 度の再測定	合計	親会社の所 有者に帰属 する持分 合計	非支配 持分	資本 合計
2022年4月1日残高	39,428	368	19,319	—	59,115	628,714	32,423	661,137
四半期利益	—	—	—	—	—	52,400	2,013	54,414
その他の包括利益	30,768	△884	△3,603	11	26,292	26,292	400	26,692
四半期包括利益	30,768	△884	△3,603	11	26,292	78,693	2,413	81,107
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	—	—	—	—	53	—	53
配当	—	—	—	—	—	△15,579	△885	△16,465
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	△4,171	△1,857	△6,029
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	—	389	389
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△598	△11	△609	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	253	253
所有者との取引額等合計	—	—	△598	△11	△609	△19,702	△2,101	△21,803
2022年12月31日残高	70,196	△516	15,117	—	84,797	687,704	32,736	720,441

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	68,991	74,757
減価償却費及び償却費	68,339	78,880
受取利息及び受取配当金	△857	△1,266
支払利息	8,742	11,268
持分法による投資損益(△は益)	△2,228	△2,222
有形固定資産及び無形資産除売却損益(△は益)	73	△455
営業債権の増減額(△は増加)	△23,766	△18,456
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,956	△20,233
営業債務の増減額(△は減少)	9,832	2,643
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△432	△647
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	806	681
その他	1,655	9,442
小計	120,199	134,392
利息の受取額	137	392
配当金の受取額	3,427	5,540
利息の支払額	△8,274	△9,703
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△18,126	△22,395
営業活動によるキャッシュ・フロー	97,364	108,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50,343	△62,176
有形固定資産の売却による収入	904	1,771
投資の取得による支出	△943	△2,645
投資の売却及び償還による収入	5,332	1,505
子会社の取得による支出	△520	△107
子会社の売却による収入	0	—
その他	△1,636	△2,307
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,207	△63,960

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	18,774	22,295
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△7,000	29,000
長期借入れによる収入	13,942	2,020
長期借入金の返済による支出	△76,182	△54,693
社債の発行による収入	25,000	—
社債の償還による支出	△15,000	—
リース負債の返済による支出	△6,595	△8,921
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△199	△2,737
配当金の支払額	△13,853	△15,579
非支配持分への配当金の支払額	△991	△885
その他	△43	626
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,149	△28,876
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△674	344
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,666	15,734
現金及び現金同等物の期首残高	91,058	93,697
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	253	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	104
現金及び現金同等物の四半期末残高	78,645	109,535

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。なお、報告にあたって事業セグメントの集約は行っていません。

当社グループは、鉄鋼、化学、エレクトロニクス産業向けなどに国内外でガス事業を行っており、主要製品に関しては、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの各地域において、それぞれ生産・販売体制を構築しております。また、ステンレス製魔法瓶など家庭用品の製造・販売などの事業も行っております。したがって、当社は、「日本」「米国」「欧州」「アジア・オセアニア」「サーモス」の5つを報告セグメントとしております。

(報告セグメントの名称変更に関する事項)

当第3四半期連結会計期間より、従来「日本ガス事業」「米国ガス事業」「欧州ガス事業」「アジア・オセアニアガス事業」「サーモス事業」としていた報告セグメントの名称を、「日本」「米国」「欧州」「アジア・オセアニア」「サーモス」に変更しております。

当該報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

また、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントについても変更後の名称で表示しております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
日本	酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガス、ヘリウム、水素、アセチレン、ガス関連機器、特殊ガス（電子材料ガス、純ガス等）、電子関連機器・工事、半導体製造装置、溶断機器、溶接材料、機械装置、LPガス・関連機器、医療用ガス（酸素、亜酸化窒素等）、医療機器、安定同位体
米国	
欧州	
アジア・オセアニア	
サーモス	

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。なお、セグメント間の内部売上収益又は振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益及び損益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	日本	米国	欧州	アジア・ オセアニア	サーモス	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	266,755	164,236	149,249	90,782	20,361	691,385	150	691,535
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	7,419	12,564	146	2,620	11	22,762	△22,762	—
計	274,174	176,800	149,396	93,403	20,372	714,147	△22,611	691,535
セグメント利益(注2)	22,474	20,439	19,430	9,734	4,953	77,032	△715	76,316

- (注) 1. セグメント利益の調整額△715百万円には、セグメント間取引消去164百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△879百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに配分していない当社におけるグループ管理費用であります。
2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	日本	米国	欧州	アジア・ オセアニア	サーモス	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	300,550	223,608	203,302	122,868	22,639	872,970	72	873,042
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	10,353	17,065	187	2,558	14	30,179	△30,179	—
計	310,904	240,673	203,489	125,427	22,654	903,149	△30,107	873,042
セグメント利益(注2)	20,136	26,099	25,387	12,321	4,475	88,420	△883	87,537

- (注) 1. セグメント利益の調整額△883百万円には、セグメント間取引消去100百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△983百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに配分していない当社におけるグループ管理費用であります。
2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

セグメント利益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
セグメント利益	76,316	87,537
固定資産売却益	—	596
仲裁裁定に伴う損失	—	△3,542
持分法による投資損益	—	△144
その他	△59	△48
営業利益	76,256	84,398
金融収益	1,634	1,653
金融費用	△8,900	△11,293
税引前四半期利益	68,991	74,757